

バグダッド市内中心部での主な治安事案マップ
(2016年1月1日～1月31日)

一般的にテロ発生の
報道が多い地域

●6日、南部2か所で、爆発が発生し、合わせて少なくとも民間人3人が死亡、12人が負傷。

●8日、南部の市場で爆発が発生し、1人が死亡、7人が負傷。また、東部では自動車に仕掛けてあった爆弾が爆発し、運転していた民間人が死亡。

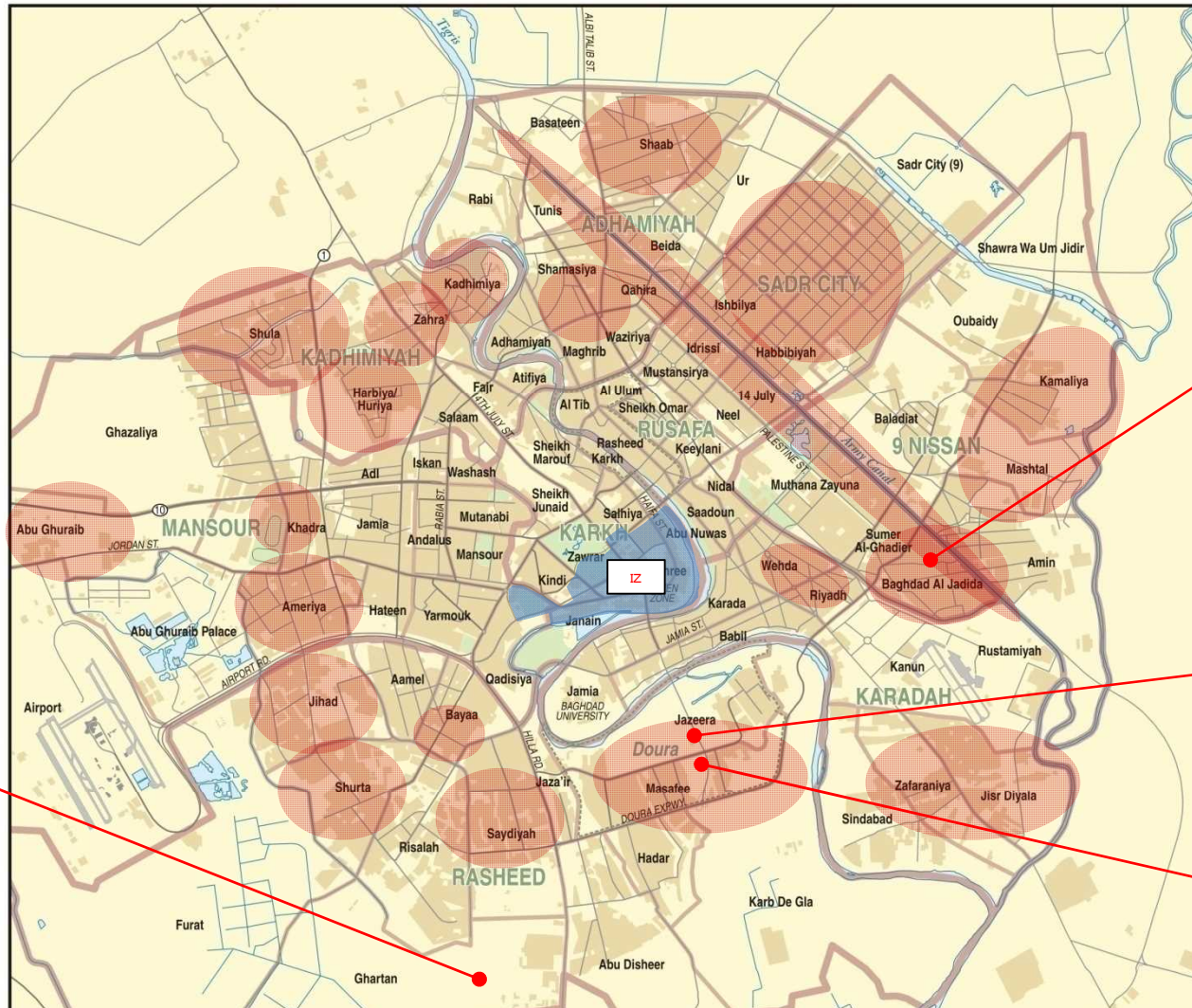
●17日、南部郊外のダウラ地区とバグダッド国際空港を結ぶ幹線道路上で、武装集団が警備請負業者の米国人3人とそのイラク人通訳1人を拉致。

●21日、北東部にあるレストラン付近で、ごみ箱に仕掛けられた爆破装置が爆発し、民間人1人が死亡、4人が負傷。

●11日、東部ニューバグダッド地区にあるショッピング・モールにおいて、武装集団が、入口付近で自動車爆弾を爆発させ、内部で銃を乱射するとともに人質をとるなどし、少なくとも18人が死亡、50人以上が負傷。ISILが犯行声明を发出。

●2日、南部ドーラ地区で、迫撃砲弾が着弾し、少なくとも民間人2人が死亡、7人が負傷。

●12日、南部ドーラ地区の市場付近で、爆発が発生し、少なくとも2人が死亡、6人が負傷。



●バグダッド市内レッドゾーン	レベル4: 退避してください。渡航は止めてください(退避勧告)
●インターナショナル・ゾーン (IZ, 別人グリーン・ゾーン)	レベル4: 退避してください。渡航は止めてください(退避勧告) (真にやむを得ない事情でこれらの地域に渡航・滞在する場合は、所属企業や団体等を通じて組織としての必要かつ十分な安全対策をとってください。)
●BIAP (バグダッド国際空港) からIZへの空港道路	
●BIAP敷地内	レベル3: 渡航は止めてください(渡航中止勧告)

注:

- 1 本マップは、各種報道をもとに、主なテロ事案の発生箇所を大まかに示すものであり、これ以外の場所でも小規模テロ等が頻発しています。
- 2 死傷者数等は個々の報道によって相違があります。
- 3 イラクについては、一部を除く地域に「退避を勧告します。渡航は延期してください。」との危険情報が发出されていますので、退避勧告が发出されている地域については、いかなる理由であれ渡航しないでください(詳細については「危険情報」を御覧ください)。